

# 2007 水素エネルギー協会 特別講演会 「水素の輸送・貯蔵」

日 時： 平成 19 年 10 月 24 日（水） 10:10-16:00

会 場： タワーホール船堀 小ホール（東京都江戸川区船堀 4-1-1）

主 催： 水素エネルギー協会（HESS）

## ■水素エネルギー協会 特別講演会テーマの主旨

水素貯蔵の研究開発は水素自動車(貯蔵量約 5kg)向けを中心に行われているが、今後、水素利用系の多様化と規模拡大により水素輸送・貯蔵システムの大型化が予想される。本講演会では、将来を見越して、自動車より大量の水素貯蔵を必要とする船舶、車両用の水素貯蔵、及び将来の水素パイプライン、国際的なエネルギーチェーン規模の液体水素輸送を講演テーマに選んでいる。

「講演内容」（講演時間はプログラムをご覧ください。）

### I. 水素の貯蔵・輸送その課題と展望

講師：産業技術総合研究所 エネルギー技術研究部門 秋葉 悦男 氏

### II. 水素船舶（潜航艇）と水素貯蔵

講師：海洋研究開発機構 海洋工学センター 月岡 哲 氏

### III. 水素鉄道車両と鉄道輸送による水素輸送

講師：鉄道総合技術研究所 浮上式鉄道技術研究部 岩松 勝 氏

### IV. 大型内燃機関と水素利用時のメリット

講師：産業技術総合研究所 新燃料自動車技術研究センター 古谷 博秀 氏

### V. 海外における水素パイプラインの現状

講師：社団法人日本ガス協会 技術開発部

燃料電池・水素プロジェクトグループ 倉橋 浩造 氏

### VI. 国際的なエネルギーチェーンを可能とする液体水素輸送

講師：川崎重工業 技術研究所 神谷 祥二 氏

■ 参加費：HESS 会員 10,000 円、一般参加者 20,000 円。

## ■ 参加費振込先

郵便振替：口座番号； 00190-3-119581 水素エネルギー協会

銀行振込：りそな銀行等々力支店 口座番号；普通預金 0930893 水素エネルギー協会

- ・当日の受付を円滑に行なうため、事前のお支払いをお願いします。（後日払い可）
- ・参加費お支払の領収書は、振替票・振込票に代えさせていただきます。
- ・振込にかかる手数料はご負担ください。

### ー申込後のキャンセルについてのご注意ー

- ・予稿集印刷部数決定前の 10 月 12 日までにご連絡いただいた場合には、お支払いは結構です。12 日以降のキャンセルの場合はお支払い下さい。予稿集は送付致します。

**■申込方法：**

定員 300 名。先着順。申込用紙でお申し込み下さい。(FAX または E-mail)

申込受理後、登録番号を付記したものを返送致します。

予稿集引換証となりますので、当日必ずご持参ください。

- ・申込後 1 週間以内に届かない場合には、事務局までお知らせ下さい。
- ・事前申込されずに当日参加の場合、予稿集をお渡しできない場合もあります。
- ・締め切りは 10 月 12 日 (金) です。

**■申し込み先：**お問い合わせは、なるべく E-mail でお願いします。

〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-2

横浜国立大学人間科学部<sup>たにしょう</sup>谷生研究室内 水素エネルギー協会事務局 (谷生、米富)

Fax : 045-339-3996 E-mail : secretary@hess.jp Web : http://www.hess.jp

## 「HESS 特別講演会 水素の輸送と貯蔵」プログラム

時 間	講 演 題 目	講 演 者
10:10-10:20	開会挨拶	水素エネルギー協会会長 (横浜国立大学大学院教授) 太田 健一郎
10:20-11:05	水素の貯蔵・輸送その課題と展望	独立行政法人産業技術総合研究所 エネルギー技術研究部門 秋葉 悦男
11:05-11:50	水素船舶 (潜航艇) と水素貯蔵	海洋研究開発機構 海洋工学センター 月岡 哲
11:50-13:00	昼食 休憩	
13:00-13:45	水素鉄道車両と鉄道輸送による水素貯蔵、	財団法人鉄道総合技術研究所 浮上式鉄道技術研究部低温システム研究室 岩松 勝
13:45-14:30	大型内燃機関と水素利用時のメリット	独立行政法人産業技術総合研究所 新燃料自動車技術研究センター 古谷 博秀
14:30-14:45	休憩	
14:45-15:15	海外における水素パイプラインの現状	社団法人日本ガス協会 技術開発部 燃料電池・水素プロジェクトグループ 倉橋 浩造
15:15-16:00	国際的なエネルギーチェーンを可能とする液体水素輸送	川崎重工業株式会社 技術研究所 神谷 祥二
16:00-16:05	閉会挨拶	水素エネルギー協会会長 (横浜国立大学大学院教授) 太田 健一郎

※題目は変更になる場合もございます。